

りょう せい りい ちゅう りい
江の島にすむ両生類とは虫類のなかまたち

展示飼育部 北嶋 円・伊藤寿茂・植田育男

江の島はこんな島

周囲が約3kmと3~4時間もあれば歩いてぐりと一周まわれる小さな島です。駅や水族館のある本土側とはしおが引いた時だけ砂でつながります。島の中に川はありませんが、わき水や池がたくさんあるため、淡水にすむサワガニやカエルもすんでいるふしぎな島です。江の島にすむ両生類（カエルの仲間）と、は虫類（カメやヘビの仲間）がどこにどのくらいいるのか、島の中を歩いてしらべてみました。（調査期間：2009年～2011年）

島の北西岸まわりにある裏参道。じめじめしたコケの下にサワガニがいます。

北西岸にはわき水の水たまりがちらほら。人工の水ためもいくつかあります。

砂浜にパイプや岩はだから淡水が流れ出ています。

お稲荷さんのまわりはじめじめゾーン。

恋人の丘のまわりは緑がいっぱい。台湾リスがすみついています。

江の島大師の池。

江島神社の人工池。時々水をぬいてそうじしています。

延命寺の小さな池。

南岸の岩はだを見上げると所々からわき水の流れが見えます。

両生類のなかま



ニホンアマガエル (①②③)
体長 2.2~4.5cm 声 クワックッ
しげみでなっています。小さいためなかなか見つけれません。



ヌマガエル (②③⑤⑥)
体長 3~5.5cm 声 ギャウギャウ
西日本の田んぼにすむカエルですが、なぜか江の島の砂浜にいます。



アズマヒキガエル (③④)
体長 4~16.5cm 声 クックッ
雨の日にのそのそと歩きますが見られます。



ウシガエル (③④⑧)
体長 11~18cm 声 ヴォーヴォー
寺の池で大きな声でなっています。外来種。

見つけた種類
(数字)は見つかったところ

は虫類のなかま



クサガメ (④⑨)
甲長 11~25cm
神社の池のカメたちは、ひとよってくるほどなれています。



ミシシippアカミミガメ
甲長 10~28cm (⑨⑩)
最も身近に見られるカメですがアメリカ原産の外来種です。



ニホントカゲ (⑦)
全長 16~21cm
あたたかい屋間に日光浴していることも。

今回の調査では見つからなかったけれど、こんな種類もいます。

- ・アカウミガメ
夏になると海南海岸に卵をつみにやってきます。
- ・アオダイショウ
ヘビのなかま。草むらや木にいます。
- ・カナヘビ
トカゲのなかま。草むらにいます。
- ・ヤモリ
家や神社のかべにいます。



アオダイショウ 2012年8月27日

いつ、どこから、どうやって、やってきたのか？

淡水がないと生きていけないカメやカエルたちはいったいどうやって島へ入ってきたのでしょうか。そのルートはいくつか考えられますが、本当のことはわかりません。あなたはどの説だとおもいますか。

- 橋や砂を渡ってきた説。自力で歩いてやってきたのかもかもしれません。
- 人が島に持ち込んだ説。ペットとしてや、はこんできた荷物にくっついて入ってきたことも考えられます。むかし小学校の分校が島内にありました。こどもたちが川や田んぼでつかまえて連れてきたのでは、という話もあります。
- すくとなりの境川から流れてきた説。洪水などで水かさが増えた時、上流から流され、海をわたって島へたどり着いたのかもかもしれません。

探検してみよう！

ここで紹介した生き物を探しに江の島へ出かけてみましょう。寒い冬は冬眠してしまうので、春から秋がおすすです。※島の中はがけになっていたり、時間によっては海にすんで通れないところもあるので、かならず大人といっしょに探検してね。